



のブリッジ余談（第103回）

どうしたら7に（続き）

2018.2.16

B先生「聞きますがA子さんはスラムにはどのようにして行きますか？」

A子「パートナーと合計した点数が34点になると判断できたらスマールスラムを、37点ならグランドスラムを自分でビッドします。パートナーの点数の幅があって、マキシマムの時にこの点数に達するならばスラムが出来ると考えて、その時はインピテーションをかけます」

B先生「初心者の時からそう習いますよね。これは両側がバランスハンドの時は大体正確な判断になります。でもどちらか一方でもアンバランスハンドなら、正確な判断になりません。あるソリッドな長いストートを持っているときは、自分側に見込めるトリックの数を数えるのが必要です。そしてオポーネントのウィーナー＝自分のクイックルーザーもチェックする必要がありますが。これが2にはならない事が判り、12トリックが見込めるときは6を、13見込める時は7を自分でビッドします」

A子「先月のCCGでしたが、ナイザーバル3rdポジションでこのようなハンドが来ました：♠AKQ5 ♥AKJ102 ♦AQJ10 ♣-ところがディーラーであるパートナーが3Dとオープンしてきました。どうトリックを数えたらよかったです？実際このときは4NTと言ったのですが、5C（キーカード1枚）と返ってきました。DKかCAか判らなかつたので6Dしか言えませんでした。実際はDKがあり簡単に7Dが出来てしまいました」

B先生「前回の余談（第102回）でも解説したようにボイドがあるハンドはキーカードアスキングしてはいけないです。3Dには3Hと言うべきです。またパートナーは明らかにアンバランスハンドですから、合計の絵札点で考えるのではなく、取れるトリック数で数えなければいけませんね！まずパートナーにはK頭の7枚のダイヤモンドがあると仮定してみましょう。するとダイヤモンドで7トリック、スペードはAKQで3トリック、ハートはAKの2トリックの合計12トリックあります。それ以外にパートナーにクラブが1枚でもあれば、それをトランプの短い方で（自分の方で）ラフすればもう1トリックれますから13トリックになりますね。なおビッドですが、3Hと言った後、パートナーが4Dといってきたらさらに4Sと言うのです。これに5Dと来たら7Dと言って良いと思います。なぜなら♠3枚以下、♥2枚以下、♦7枚ということは、♣は1枚以上ということで♣をラフする1トリックがあることになり、合計13トリックと考えます」

A子「パートナーが6枚で3Dオープンしていたとするとどうでしょうか？」

B先生「ラフ以外のトリック数は11になりますね。それ以外にパートナーに2枚以上のクラブがあれば、クラブ2枚ラフして合計13トリックになります」

A子「もしパートナーにクラブが2枚無ければどうなるのでしょうか？」

B先生「たとえばパートナーのハンドが上から4-2-6-1のようなディストリビューションだったとしたら、パートナーは♠をレイズしたでしょうから4-2-6-1は否定して良いでしょう。仮に4-2-6-1だったとしても、スペードが3-2ブレークで4トリック取れますから合計13トリック、ハートが4-2か3-3ブレークでハートが4トリックでも、13トリックになります。85%の確率ですね。3-3-6-1のディストリビューションのときは、パートナーにSJがあればそれでスペードが4トリック、HQがあつても問題ありませんね。最悪の場合はハートのフィネスになりますが。またパートナーが3枚の♥を持っていたら3Hレスポンスに4Hとレイズしていただろうと考えます。」

A子「なるほど、なるほどトリック数で数えるとは、こういうプロセスなのですね」

B先生「そうです。このハンドの場合はおそらく90%以上の確率で7Dが出来そうと考えねばなりません。絵札点で考える場合も合計で37点あっても100%マーク出来る保証はありません。トリック数で数える場合も確率になります。6割以上あると思った時は7=グランドスラムをビッドした方が良いのです

全部のハンドは

♠ 632	♠ 1074
♥ 7	♥ 96
♦ K98652	♦ 43
♣ QJ10	♣ K987652
♠ J98	♠ AKQ8
♥ Q8543	♥ AKJ102
♦ 7	♦ AQJ10
♣ A843	♣ -
(N)	
W • E	
S	

でした。Nが3Dオープンしていないと7Dを見付けるのは難しいかも知れませんね。7Dに到達したペアは皆無でした。たぶんNからP-2C；2D-2H；3D-4D；5D-6Dになるだろうと思います」